

## あ と が き

国際水禽調査局の主催するハクチョウ類のシンポジウムを日本に誘致しようということは、わが日本白鳥の会結成以来の重点目標のひとつでありました。

その努力のすえの総和ともいべき国際会議が、この2月 IWRB 日本委員会を中心とする実行委員会によって北海道で開かれ、いろいろな意味で大きな成果をおさめながら無事終了いたしました。その決議文の原文を2ページから9ページに特集しましたので、今後あらゆる機会にご活用をお願いします。

国際会議は終了しても、そのめざすところの最大の目標のひとつである湿原の保護という視点から見れば、まだ、ほんの入口にさしかかったばかりだともいえるようです。

ハクチョウ類をはじめとする水鳥保護の条件整備上の根幹となる湿原の指定保護地は、国際会議決議に示めされる三カ所だけでいいというわけにはいきません。これまでも、ハクチョウ類のほか天然記念物のガン類などの渡来地として貴重性をさげられながら、地元のコンセンサスがえられないところから、国際湿原保護条約の指定候補地として、具体化の見とおしのたない渡来地がいくつもあります。

風蓮湖（北海道）、佐潟（新潟）などですが、これらの湖沼が指定地として加えられていく日のことを夢見ながら、たゆまずに活動を続けていきたいものだと思います。 (本)

---

日本白鳥の会会報

---

### 日本の白鳥（第7号）

発行者 会長 家 田 三 郎  
発行所 新潟市川端町2丁目9番地  
新潟県林業会館 県公連気付  
日本白鳥の会  
発行日 昭和55年8月31日  
編集者 事務局長 本 田 清  
TEL 0252(24)6073(直通)  
振替口座 新潟 3796  
指定銀行 新潟市第四銀行東中通支店  
普通預金口座 267372  
日本白鳥の会  
(会員頒布)

---

印刷 株 東 新 印 刷

---

## 会報 166 正誤表

本会報の前号所載の記事中、下記の部分に誤りがありましたのでお詫びして、訂正させていただきます。

### 【白鳥の解剖図譜】

頁	訂正部分	誤	正
6	英文上から3行目	Cygnets	Immature
8	翼部の骨格中	橈骨 Radius	尺骨 Ulna
〃		尺骨 Ulna	橈骨 Radius
24	英文下から2行目	Correspondstto	Corresponds to
30	上から2行目末尾	Cygnets	Immature
35	上部枠の中	SEEX	SEX

### 【自然保護と術語の統一】

頁	左 右	行 目	誤	正
39	左	20 - 21	育目的	盲目的
〃	右	5 - 6	反自然護	反自然保護
〃	右	14	Prescrvation	Preservation
40	右	6	あまり得ない	あり得ない
〃	右	8	するべきで	すべきで

### 【新潟の白鳥渡来地】

頁	左 右	行 目	誤	正
118	右	27	ついて	ついに
〃	右	35	亟 養	涵 養
121	右	5	若 起	惹 起
〃	右	14	窺 屈	窮 屈